

留 学 報 告 書

記入日:2016年1月13日



所属学部／研究科・学科／専攻	商学部/商学科/グローバルビジネス専攻
留学先国	オーストラリア
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: マッコーリー大学 現地言語: Macquarie University
留学期間	2015年2月～2015年12月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2015年12月13日
明治大学卒業予定年	2017年3月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:2月下旬～6月中旬 2学期:7月下旬～11月中旬
学生数	学部学生数 21,394人 / 大学院学生数 9,892人
創立年	1964年

留学費用項目	現地通貨(豪ドル)	円	備考
授業料		円	
宿舍費	10,204 ドル	1,000,000 円	
食費	1,046 ドル	102,518 円	
図書費	510 ドル	50,000 円	
学用品費		円	
教養娯楽費	3,061 ドル	300,000 円	旅行代
被服費		円	
医療費		円	
保険費	1,734 ドル	170,000 円	形態:
渡航旅費	2,040 ドル	200,000 円	
雑費	4,081 ドル	400,000 円	
その他	561 ドル	55,000 円	通信費
その他	540 ドル	53,000 円	VISA
合計	23,780 ドル	2,330,518 円	1ドル 98 円で計算

渡航関連

渡航経路: 成田空港～オーストラリア(シドニー)
オーストラリア(シドニー)～羽田空港

渡航費用

チケットの種類 片道×2
往路
復路
合計 200,200 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

カンタス航空・地球の歩き方

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 フラットメイトが他 3 人)

3)住居を探した方法:

マッコーリー大学のホームページから

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

期待値はかなり低めにしましょう。大学が所有する寮は現在 Herring Road Apartment のみです。(Village や RMC 等も大学寮の一部として紹介されていますが、運営は他の機関です。)Herring Road Apartment はユニットによって、学校からのフリー Wi-Fi が使える場所と全く届かない場所があります。前期は Herring Road Apartment に住み、全く Wi-Fi が届かないユニットであったため、かなり苦労しました。その後、現在は閉鎖されている大学寮に引っ越しました。Village や RMC 等、他の機関が運営する大学寮は家賃が高い難点もありますが、Wi-Fi を始めとした設備は整っています。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

利用する機会が無かった
 利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

日本人スタッフの方がいらっしやると聞きました。お会いしたことはありませんが、数回メールをさせていただきました。とても親切な方でした。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

現地の知り合いに治安が悪い地域などを聞きました。特に盗難等の被害には遭いませんでしたが、日本にいる以上に貴重品の管理は徹底しました。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

上述した通り、寮によっては大学からの Wi-Fi が全く届きません。また届いたとしても不安定な場合も多くあります。しかし大学の図書館や教室には強度な Wi-Fi が届いているので、大学にいる分には困った覚えはありません。携帯電話は月に 45 ドル 4GB のポーダフォンのプランに加入しました。4GB を超えてしまうと速度制限ではなく、エキストラで 1GB につき 10 ドルを払わなければならないので要注意です。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか？(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

上限金額の異なるクレジットカードを 2 枚使い分けていました。
送金はキャッシュパスポートにもらい、必要に応じて現金を引き出していました。
銀行口座は身分証明のために開設しただけで、一度も利用したことはありません。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

アジアスーパーも多くあり、食材に苦労することはありません。
おすすめなのは 100 円ショップで購入できる、レンジでお米が炊けるタッパーです。留学期間を考慮すると炊飯器を買うのは少しもったいない気もしますし、お鍋でご飯を炊くのは少々手間がかかります。よってお米が炊けるタッパーは大変重宝しました。

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
BBA340 Cross Cultural Management	国際経営学
科目設置学部・研究科	
履修期間	2 学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー・チュートリアル
授業時間数	1週間に120分と60分が1回ずつ
担当教授	Candy Lu
授業内容	海外進出をする際の海外展開方法や起こりうる異文化問題について学習。
試験・課題など	Media Report, Group Presentation/Report, Class Test, Final Exam
感想を自由記入	300レベルというだけに、授業やチュートリアルのレベルは高め。しかし、非常に興味のある内容であったため、勉強するのは楽しかったです。 レポートは1,500字程度が2枚。それぞれしっかりと参考文献を使うことが必要とされます。クラステストはチュートリアル内で毎回行われ、事前にケーススタディを読んで挑まなければならないので、予習も求められます。 300レベルということ、授業時間が夕方ということもあり、生徒の中にはフルタイムジョブを持つ人もいて、日本では味わえない環境でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
BBA111 Organizational Behaviour		産業心理学	
科目設置学部・研究科			
履修期間	2 学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	レクチャー・チュートリアル		
授業時間数	1週間に 120 分と 60 分が 1 回ずつ		
担当教授	Senia Kalfa		
授業内容	会社を経営する上で必要なリーダーシップや労働者の心理について学ぶ。		
試験・課題など	Individual Essay, Group Presentation., Assessed Coursework, Final Exam		
感想を自由記入	<p>経営学と心理学が融合されていて、非常に面白い科目でした。労働者の心理については現代の労働環境について説明するだけでなく、歴史的な背景についても説明があるので理解しやすいです。</p> <p>エッセイは 2,000 文字程。与えられた 3 冊の文献に加えて、自分自身でも文献を探さなければならないので、100 レベルであっても必要とされるレベルや質は高い印象があります。</p> <p>この科目は珍しいことに、クラステストがレクチャー内で行われます。よって、普段は授業に出席する生徒は少ないのですが、クラステストの日の授業は教室がフルになりました。</p>		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
BUS201 Introduction to Global Business		国際ビジネス	
科目設置学部・研究科			
履修期間	1 学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	レクチャー・チュートリアル		
授業時間数	1週間に 120 分と 60 分が 1 回ずつ		
担当教授	Murray Taylor		
授業内容	国際ビジネスについて学ぶユニット。扱う範囲は広く、例えば新興経済諸国の成長、貿易協定、欧州連合の成り立ち、経営倫理など。		
試験・課題など	Group Presentation/Report, Individual Assignment, Final Exam		
感想を自由記入	<p>このユニットのレクチャーが一番わかりやすく、授業もとても楽しかったです。</p> <p>内容は基本的なものなので、留学を開始した学期に受けるのがおすすめです。この授業で学んだ知識は他のユニットにも応用できるので、きちんと教科書を読み主体的に学習してよかったと思います。</p>		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
BUSL305 Global Trade Law		世界貿易法	
科目設置学部・研究科			
履修期間	1 学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	レクチャー		
授業時間数	1週間に 180 分が1回		
担当教授	Zaman Khorseduzzaman		
授業内容	世界の貿易機関の成立までの経緯や貿易をする上では欠かせない細かい法律についても学習する。		
試験・課題など	Media Assignment, Research Assignment, Individual Presentation, Participation		
感想を自由記入	<p>1 学期に取る授業レベルにしては高いレベル (300 レベル) なので、最初は履修するか迷いましたが、この科目は私の交換留学をする上で大きく挑戦する幅を広げました。インターンシップをした理由は、この科目を学んでゆうちに貿易に非常に興味を持ったためです。授業のレベルに臆することなく、興味関心を優先して履修してよかったですと思います。</p> <p>レポートの文量は 1,500 文字と 3,000 文字となかなかしっかりとしたものでした。個人プレゼンテーションは、一人で 10 分以上話さなければなりません。留学して初めて取り組むプレゼンテーションがこのユニットだったので、最初は緊張しましたが、何回か経験することで度胸がつかえました。</p>		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
MKTG101 Marketing Fundamentals		マーケティング管理論	
科目設置学部・研究科			
履修期間	1 学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	レクチャー・チュートリアル		
授業時間数	1週間に 120 分と 60 分が1回ずつ		
担当教授	June Buchanan		
授業内容	マーケティングの基礎について学ぶ授業。皆が良く知る4Ps など。		
試験・課題など	Group Presentation/Report, Class Test, Class Quiz, Final Exam		
感想を自由記入	<p>マーケティングを今までに習ったことがない人向けの授業です。</p> <p>小テストやクラステストがコンスタントにあるので、常に授業の復習に追われていたイメージがあります。期末試験は Essay 式なので、マーケティングを学ぶ上で必要な概念を理解し、細かい専門的なワードも覚えなければならなかったので大変でした。しかし、この科目さえ 1 学期にクリアすれば、2 学期には様々なマーケティングの授業が履修できるのでおすすめです。</p>		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
MKTG209 Global Marketing	国際マーケティング
科目設置学部・研究科	
履修期間	2 学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー・チュートリアル
授業時間数	1週間に 120 分と 60 分が1回ずつ
担当教授	June Buchanan
授業内容	様々な国の企業に焦点をあて、その企業のマーケティング戦略等を学ぶ。MKTG101 に比べ暗記要素は少なく、学んだ内容から問題点を見つけ出し、自分で参考文献を利用しながら問題点に対する答えを見つけ出す、応用的なユニット。
試験・課題など	Group Presentation/Report, Short Essay, Quizzes, Final Exam
感想を自由記入	このユニットはグループワークが大変であった印象です。主な内容はそれぞれのグループにケーススタディが与えられ、そこから問題点を見つけ出し、参考文献を用いて説明や解決策の提案をするものです。グループレポートは一人 12 冊以上の文献を引用しなければならず、なかなか大変でした。そして、この授業はチュートリアルへの準備に時間がかかります。学期中の前半は主にクラス内テスト、そして後半は他のグループが発表するケーススタディを読み、グループワークと同様に問題点を発見し、その答えをいくつかの文献を用いて Essay 形式で答えます。毎回提出することが求められるので、手を抜くことはできません。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
ECON394 The Japanese Economy	日本経済学
科目設置学部・研究科	
履修期間	2 学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー・チュートリアル
授業時間数	1週間に 120 分と 60 分が1回ずつ
担当教授	Alexander Blair
授業内容	日本の財閥解体から現在の日本経済まで学ぶユニット。
試験・課題など	Presentation, Mid-term Exam, Essay, Final Exam
感想を自由記入	交換留学中に取ったユニットの中で一番難しいと感じました。レベルは経済学部生の卒業レベルです。しかし、レクチャーは努力をする生徒には非常に親切に指導を下さる方で、授業後やコンサルテーションタイムを利用して質問に行っていました。難しいながらも学び甲斐があり、日本経済を客観的な視点から学べるのでおすすめです。Essay はアベノミクスについて書きました。英語の Essay である以上、参考文献は英語でなければなりません。日本においては日本経済について英語の文献を用いて学習することはないので、貴重な機会です。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
ACBE100 Academic Communication in Business and Economics	ビジネスや経済学に関する学術的なエッセイ講読・実践
科目設置学部・研究科	
履修期間	1 学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー・チュートリアル
授業時間数	1週間に 120 分が 2 回
担当教授	Cassi Liardét
授業内容	Academic な Essay の書き方を学びます。
試験・課題など	Essay の提出が 3 回、Group Presentation
感想を自由記入	留学開始の学期に履修することを強くお勧めします。私は商学部なので ACBE100 になりましたが、同様のユニットが他の学部にも設置されているので、明治大学の所属学部と同じ、または似ている学部が設置するこの種のユニットをとると良いでしょう。この授業では、リファレンスの書き方や学術的なエッセイの書き方について学びます。独学でリファレンスの書き方を学ぶのはなかなか大変でしょう。そして、他の専攻の授業では学術的な Essay の書き方に関する指導はありません。よってこのユニットを履修することで効率良く学習することができます。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2014年 1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・春休みを利用して明治大学主催の MLP に参加する ・IELTS の勉強を本格始動する
4月～7月	<ul style="list-style-type: none"> ・校内で行われる留学関連のイベントにできる限り足を運び、留学経験者の方々から体験談などを聞く ・大学の勉強と両立しながら IELTS の勉強 ・留学関連書類を作成、事務室に提出
8月～9月	<ul style="list-style-type: none"> ・IELTS のための夏期集中講座に参加(外部機関) ・数回 IELTS を受験した後、オーバーオール 6.5 点・それぞれのセクションが 6.0 以上を達成 ・オーストラリアにある協定留学先の大学情報を書店やウェブサイトから収集し、一番行きたい大学を考える ・書類審査後の選考過程の一つである面接を受ける ・正式にオーストラリアに留学へ行くことが決まる
10月～12月	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン英会話講座を受講 ・大学の英語の授業は特に妥協しない ・GPA も交換留学の条件なので、期末試験勉強は気を抜かずに ・VISA や OSHC などオーストラリアへ留学に行く上で欠かせない手続き ・住居の手続き ・航空券の手配
2015年 1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・明治大学に交換留学で来ていた外国人留学生の為のフェアウェルパーティに参加し、マッコーリー大学の生徒と友達になる(現地でも数回遊びました) ・期末試験と並行しながら渡豪準備 ・所属ゼミの合宿に参加 ・交換留学の為にアルバイトを辞める ・渡豪
4月～7月	<ul style="list-style-type: none"> ・大学の仕組みが分かってくる ・4 月には中間休みがあり、友人とメルボルンへ行く ・6 月中旬には期末試験がある ・7 月の冬休みは大学対抗グループプレゼンテーション大会に出場 ・6 月から 11 月下旬までインターンシップをさせて頂く ・7 月後半から 2 学期がスタート
8月～9月	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップや友達との時間を息抜きに、大学の授業も全力で ・週末を利用してサーフキャンプに参加 ・9 月には中間休みがあり、知り合いを訪ねにニュージーランドへ旅行
10月～12月	<ul style="list-style-type: none"> ・10 月の中旬頃はエッセイや期末試験の準備など忙しさのピーク ・11 月中旬には期末試験がある ・11 月下旬から上旬にかけて、友人とケアンズとウルルに旅行 ・12 月上旬には帰国準備開始 ・日本へ帰国 ・帰国後、就職活動について本格的に調べ始める
2016年 1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・単位交換書類や留学報告書の作成

留学体験記

留学しようと決めた理由	机上の英語を実践するためのツールにするためです。
留学のためにした準備, しておけば良かったと思う準備	<p>語学力の向上は大前提です。</p> <p>私が個人的にやっておけば良かったと思うことは、自分が履修する予定のユニットの課題量を把握しておくことです。</p> <p>授業内容についてはきちんと調べておりました。しかし、一つ一つのユニットで課される課題量までは把握しておりませんでした。</p> <p>ユニットによっては期末試験がある教科やない教科があります。または、期末試験と中間試験を実施するユニットもあります。よって語学に自信がない場合は、極力期末試験がない科目を履修する選択肢もあります。</p> <p>私は運良く、期末試験がある科目とない科目のバランスは良かったです。万が一、初めての学期で4科目全て期末試験があったケースを考えると少しゾッとします。</p>
この留学先を選んだ理由	<p>授業内容で決めました。留学先を選ぶにあたって、マッコーリー大学には私が履修したい授業が多く開講されていたことが理由です。(国際貿易法・日本経済学等)</p> <p>また、マッコーリー大学はビジネス系の学部が強いという評判があります。レベルの高い商学の授業が学べることに魅力を感じたのも選んだ理由に挙げられます。</p>
大学・学生の雰囲気	<p>広大なキャンパスを有する大学で、図書館には学ぶ環境が整っており、朝は 7:30 から・夜は 1:00 まで開館しています。Student Connect という建物でも自習環境が整っており、その建物は図書館よりも遅い時間まで開いています。</p> <p>大学の雰囲気は、皆自分の時間を楽しんでいる印象です。晴れている日は芝生で日光浴をしたり、大学構内にあるジムで運動をしたり、図書館で勉強をしたりと皆自分の時間を楽しみ、日本の大学と比べゆったりとしています。</p> <p>学生は様々な国籍から構成されており、キャンパスにいても日常的に英語以外の言語を多く耳にします。私が留学した時は、日本人交換留学生に会ったことがありませんでした。英語を上達する上で貴重な環境に身を置いていたと考えます。</p>
寮の雰囲気	<p>住む寮やユニットによって、雰囲気は大きく異なると思います。私が住んでいた寮は落ち着いた雰囲気の寮でした。個人的にフィンランド人のフラットメイトとは一緒に出掛け、世間話をしていました。それ以外のフラットメイトとはどちらかという部屋にいる時間が長いタイプであったため、特別な交流はありませんでした。</p> <p>仲の良い交換留学生の住む寮に遊びに行き、皆でご飯を作り、くつろいだりしていました。</p>
交友関係	<p>マッコーリー大学では、学期が始まる前に交換留学生やインターナショナルステューデントのためにソーシャルアクティビティを開催していただきます。交流イベントに参加することで、友達を作っていました。そこでできた仲の良い友達の知り合いに会ったり、一緒に他のイベントに参加したりすることで友達の輪が広がってゆき、楽しかったです。</p> <p>まるで昔から知り合いの様に思える気の合う友達、そして親友と呼べる友達に出会うことができ、お別れの時は非常に寂しかったです。言語や国籍の壁など関係なしに、素敵な友達に出会えるのは素敵なおことです。</p>
困ったこと、大変だったこと	<p>寮の環境があまり整っていなかったです。寮を決めるにあたって、事前にマッコーリー大学のウェブサイトから大学のフリーWi-Fi が届く範囲を示したマップを参考に、入居した寮がフリーWi-Fi 圏内であることを確認しました。しかし、住んでみると全くWi-Fi が届かず、家で勉強することができずに困りました。</p> <p>ネット回線をひくことも考えましたが、1年という滞在期間を考慮すると設置費にお金を掛けるのはもったいないと思い、断念しました。</p> <p>最終的には別の大学寮に引っ越しました。2つ目の寮は大学からのフリーWi-Fi が届いたのでよかったです。</p>
学習内容・勉強について	<p>基本的には商学・経営・経済の授業を履修していました。レベルは100レベルから300レベルまで幅広く、自分の興味に沿って履修しました。当初は最終学年レベルである300レベルの履修を躊躇しました。しかし、挑戦してみなければ何もわからない、そして興味があるのなら履修しない理由はないと考え、いくつか履修しました。確かに300レベルは100レベルと比べ、課題の量・試験の難易度ははるかに高いです。しかし、きちんとやり遂げることで自分への自信にも繋がるので、是非トライして頂きたいです。</p> <p>試験前は試験勉強に加え、エッセイの提出もあったので非常に忙しく、図書館に籠る日々が続きます。しかし、交換留学生の仲間と一緒に勉強することによってモチベーションが上がりました。また、平日は勉強・休日は出かけるなどメリハリをつけることで、効率良く勉強することに尽力していました。</p>

課題・試験について	<p>一つの Essay で求められる分量や文献の数が膨大です。尚且つ、どのユニットからも Essay の課題はあるので、一つの科目に時間をかけすぎてはいけなことを痛感しました。</p> <p>そして、予習・復習も大切です。どのユニットのテキストも分厚く、当初は読むのに時間がかかりました。しかし、きちんと教科書を読んだ上で授業に挑み、分からなかった部分を再び教科書で復習するプロセスは授業の吸収度を上げ、効率の良い学習方法だと思います。</p> <p>試験はほとんどが論述式でした。よって暗記だけでは通用しません。論述式の試験に備えるために、自分の口で、授業で習ったことを説明できる様に勉強しました。</p>
大学外の活動について	<p>週に 1 回、約 6 か月間インターンシップをしておりました。</p> <p>他には大学の冬休みを利用して、大学対抗グループプレゼンテーション大会に出場しました。</p>
留学を志す人へ	<p>留学へ行く切符を手に入れることはゴールではなく、ようやくスタート地点に立ったことを意味します。よって、そこで満足するのではなく、どのような留学生活にしたいのか、留学先で何にチャレンジしたいのか等、一歩の先のことに目を向けてみましょう。</p> <p>より充実度の高い留学にする為には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学へ行く上での目標 ・留学へ行きたい理由 ・留学へ行く前の自分自身の長所・短所 <p>などを明確にすることが大切だと思います。そして留学期間中もなんとなく日々を過ごすのではなく、都度目標と現状を比べることが自分を成長させると思います。</p>

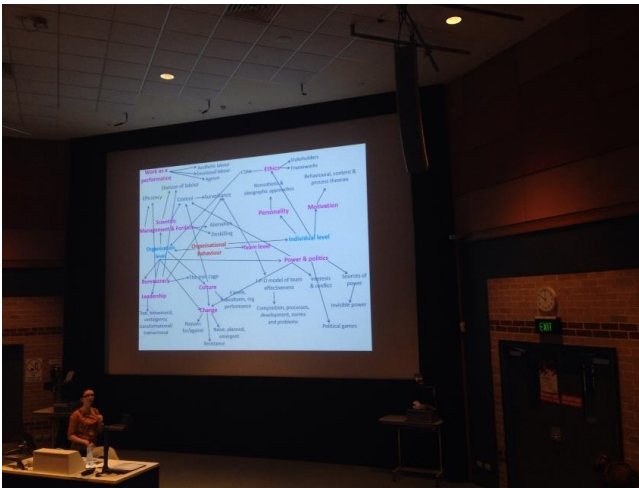
一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	自習	授業	授業	インターンシップ	自習	海や山に行く	海や山に行く または自習
	自習	授業	自習	インターンシップ	グループミーティング	海や山に行く	海や山に行く または自習
午後	友達と芝生でゴロゴロお昼タイム	友達と芝生でゴロゴロお昼タイム	友達と芝生でゴロゴロお昼タイム	インターンシップ	友達と芝生でゴロゴロお昼タイム	海や山に行く	海や山に行く または自習
	自習	授業	授業	インターンシップ	授業	海や山に行く	海や山に行く または自習
夕刻	皆でクッキング	授業	自習	インターンシップ	授業	皆でクッキング	パーティしたり映画鑑賞したり
夜	皆でテレビを見たり喋ったり	自習	自習	友人と会う	授業	皆でテレビを見たり喋ったり	月曜日からの授業の準備等

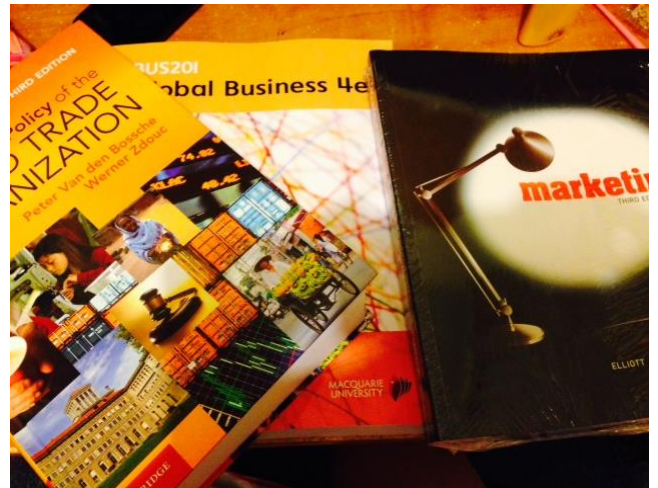
キャンパスの様子



授業・学習の様子



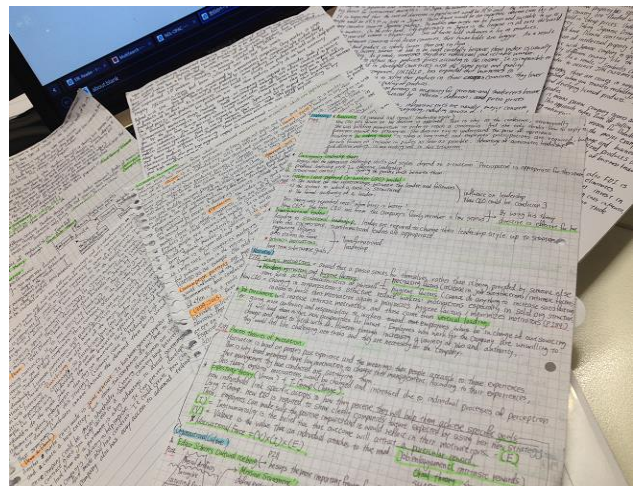
レクチャーの様子



使用していたテキスト



図書館外観



学習の様子



試験前・開館前の図書館



図書館で友人と

学内イベントにて



学外での活動



ハイキングにて



Halloween にて



Alice Springs にて



仲よし皆で集まる最後の日



空港で親友とお別れ